

## 自ら学び続ける教職員研修支援事業 活動報告書

グループ名 可茂子どもサポート研究会

テーマ 特別支援教育 みんなが輝くために  
～子どもの実態をつかむアセスメントから、効果的な支援、実践へ～

## 取組のポイント・成果

取組の内容とポイント

## 【勉強会の計画・運営】

| 日時     | 勉強会の内容  | 参加者               |
|--------|---|-------------------|
| 6月21日  | SST（ソーシャルスキルトレーニング）を学ぼう                         | 33人               |
| 8月1日   | 多層指導モデルMIMを使った読みの指導について学ぼう<br>*書籍の紹介 *学校での実践報告  | 43人               |
| 9月13日  | スヌーズレンについて学ぼう<br>スヌーズレンボトル作り・ブラックライトルーム体験       | 12人               |
| 10月11日 | 愛着障害について学ぼう                                     | 41人               |
| 12月6日  | WAVES（「見る力」を育てるビジョン・アセスメント）について学ぼう<br>*学校での実践報告 | 27人               |
| 1月24日  | SLD（限局性学習症）について学ぼう<br>*書籍の紹介                    | 現地23人<br>オンライン10人 |

## 【研修の受講】

- ・7月18日 蒲郡子どもサポート研究会 勉強会参加  
「集団生活での困り感を理解する～作業療法士の視点から～」
- ・11月14日 蒲郡子どもサポート研究会 勉強会参加  
「発達障害と不安～自閉スペクトラム症との関連を中心に～」

## 【書籍からの学び】

- ・書籍を読み、専門的な知識を身に付ける。研修会で紹介し広める。  
(書籍名「教室でできる気になる子への認知行動療法」「教室でできる気になる子への認知行動療法 実践ワーク編」「死に至る病 あなたを蝕む愛着障害の脅威」「思春期青年期トラブル対応ワーク」「算数障害スクリーニング検査」「読み書きのつまづきアセスメントブック」)

## 成果

### 【勉強会の運営・計画】

- ・学んだことを日々の実践に生かす

SST や読みの指導、愛着障害やSLD など多くのテーマで勉強会を行ったことで、子どもの実態をつかむ視点や指導支援の方法を学ぶことができ、それを各学校の実践に取り入れることができた。

- ・特別支援教育を学ぶ仲間の広がり

今年度は、可茂地区の教職員の参加が多く見られた。特別支援学級や通級指導教室の先生だけでなく、通常学級の先生の参加も多く、特別支援教育について学びたい先生が集まり、学び合うことができた。ほかにも放課後等デイサービスの方、スクールカウンセラーなどの参加もあり、多職種連携の機会としても有意義な場となった。多職種の連携の場ともなった。

- ・オンラインの実施

オンライン形式で実施したことで、休日に外出が難しい教職員も参加しやすくなり、参加者の幅を広げることができた。

### 【研修の受講】

- ・職員会や勉強会で学んだことのポイントを伝え、特別支援教育の理解および指導力の向上を図ることができた。

### 【書籍からの学び】

- ・勉強会の中に書籍紹介の時間を設けたことで、特別支援教育に関する有益な情報を多くの教職員に提供することができた。各教職員が関心に応じて書籍を選び、主体的に学びを深める姿が見られた。
- ・勉強会の内容に関連する書籍を購入し、興味をもった教職員が必要に応じて資料を参照できる環境を整えたことで、継続的な学習につながった。

## 今後の課題

### 【研修の課題】

- 1 勉強会の内容

参加する先生が学びたいことを精選し、実りある勉強会にしていく。

- 2 オンラインでの開催

最後の1回オンラインにしたことで、普段参加できない先生が参加できた。今までの勉強会の中でもオンラインを希望された先生もいたので、オンラインでの開催も考えていきたい。

- 3 研修の受講

蒲郡の研修は、医療・福祉・学校などと地域で連携しており、とても勉強になるが、遠いため参加できる人が限られてしまった。

### 【今後の方向性】

- 1 勉強会の継続

可茂子どもサポート研究会は、可茂地区の先生方にとって気軽に参加しやすい勉強会になっている。今年度は、可児市教育研究所が可児市内の小学校、中学校に勉強会の案内を送ってくださり、広めることができた。参加した多くの先生がこの勉強会の継続を希望している。学び合う仲間が増えたので、この勉強会を来年度も継続していきたい。

- 2 学んだ特別支援教育の視点を広げる

学んだことを生かす、それぞれの先生がそれぞれの学校の中で広めることができるようにしていきたい。

### 【還元の方法】

- 1 校内の職員へ

- ・職員会や打ち合わせ、学年会、校内のメールなどで学んだことを伝えた。

- 2 日々の実践の中で

- ・勉強会で学んだことを日々の実践の中で行い、その成果と課題を勉強会の中で報告した。